

令和5年度の研究(または活動)内容

今年度は新規プロジェクトに向けた下準備をした。主に以下の4点について進めた。

1) 令和5年4月～令和6年3月 認知症当事者 丹野智文氏をモデルとした映画の上映会の企画と広報活動

下記の企画とポスターの作成・配布を行った。

[日時]2024年4月29日(月:祝日)14:00～(開場 13:30～) [会場]せんだいメディアアテーク 7F シアター

13:30- 開場

14:00-15:40 映画上映

15:40-16:15 丹野さんと語る。



丹野智文さんと共に深く掘り下げる
オレンジ・ランプ上映会

この映画のモデルとなった丹野智文さんをゲストに迎え、上映終了後にアフタートークを開催します。みなさんと認知症について考える機会になればと思います。

【日時】2024年4月29日(月:祝日)14:00～16:15 (開場 13:30～)
【会場】せんだいメディアアテーク 7F シアター
【チケット】①一般1,000円 ②学生無料<学生証の提示が必要です>

主催 東北工業大学 認知症の人と環境研究所
申込 <http://getu.at/abgd/DH>
連絡先 yutanimoto@tohotech.ac.jp

お申し込みはこちらから

【交通アクセス】地下鉄南七条駅南口徒歩5分
【会場】せんだいメディアアテーク 7F シアター



イベントの内容

この度、39歳でアルツハイマー型認知症と診断された丹野智文氏をモデルにした映画作品「オレンジ・ランプ」の上映会を開催いたします。映画は、認知症の深い理解と認知症になっても新しい人生を作ることができるという希望を伝える内容になっています。

ストーリーの梗概

主人公・只野晃一(和正人)は成功を収める営業マン。しかし突然、名前の記憶が曖昧に。診断結果は衝撃の「若年性アルツハイマー型認知症」。この診断を境に、晃一と妻・真央(貴地谷しほり)の生活は大きく変わります。結果を受け、元気がなくなっていく晃一を支えようと、妻の真央はなんでもやってあげようとしています。しかしあることをきっかけに晃一だけでなく真央の意識も変わり、しだいに職場や地域の人々の意識も変わっていくのです。

監督はケアンシ、ピア まちをつなぐもの の山田秀幸。

特別なアフタートーク

上映後は、丹野智文氏をお招きしてのアフタートークを実施。映画の背景、認知症への理解、共感を深めるための対話の場を設けます。参加者同士で認知症についての意見や思いを共有する貴重な機会です。

東北工業大学



2) 令和5年9月 認知症の人に関する研究についての意見交換

日時: 令和4年9月26日(火) 17:00-18:30

内容: 認知症の人と環境研究所 会議への出席

場 所：オンライン

参加者：石原、田中、福井、井上、谷本

ご相談内容

- ・研究の目的：認知症の人の声を環境づくりに反映させるための研究
- ・研究の方法：当事者を含めたグループミーティング
- ・研究のスケジュール：次年度実施

いただいた主要なコメント

- ・研究対象（ターゲット）を絞った方がよい
- ・認知症の人の声を聞き取る方法の研究をまず進めた方がよい
- ・事前に配布するシートはアンケートではなく、ヒアリングにした方がよいのではないか
- ・これまでに 7-8 名のフォーカスインタビューを実施したことはあるが、アウトプットは個人版ケアパス
- ・グループミーティングの方法はおもしろいと思う
- ・グループミーティングの会場は「オレンジドア」など普段から高齢者にとって慣れた場所を選定した方がよい
- ・グループミーティングのファシリテータは学生には難しいのではないかと、ケアマネなどだろうか
- ・自身の施設で行っている「聞き書き」のデータ提供ができる
- ・認知症の人の声を聞き取るのは難しいので、グループミーティングが成立するか心配である
- ・小規模多機能の高齢者にも協力してもらうことはできる

3) 令和 6 年 2 月 先進的な認知症デザインの視察

福岡：認知症フレンドリーセンター

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/fukushi/dementia/health/00/04/ninchisyounfriendlycity/fukuoka-dementia-friendly-center.html>

に訪問し、福岡市の認知症の人のための環境づくりを視察した。

シンガポール：Khatib Central(dementia friendly facility)

<https://www.immortal.com.sg/works/khatib-central-chong-pang-city-dementia-friendly-w/>

に訪問し、認知症にやさしいまちづくりの実践を視察した。

4) 令和 6 年 3 月 デザイン工学専攻と建築学専攻の院生が制作協力したせんだい Tube 動画の公開

仙台市は認知症観を広げるための幅広い世代への普及啓発活動として、認知症のご本人・ご家族も参加する動画制作ワーキングを開催し、認知症のご本人・ご家族からのメッセージ動画を制作した。このワーキングに研究所に関わるデザイン工学専攻と建築学専攻の院生が協力し、ワーキ

ングの際には積極的に発言し、さまざまなアイデアを出した。

学生が関わって完成した動画 3 本がせんだい Tube【仙台市公式動画チャンネル】に掲載された。

● 認知症のご本人からのメッセージ動画 :

<https://www.youtube.com/watch?v=WzVzboQ5eXU>

● 認知症の人のご家族からのメッセージ動画 :

<https://www.youtube.com/watch?v=65FxzAxwbEA>

● 認知症のご本人・ご家族・制作に関わった学生からのメッセージ動画 :

<https://www.youtube.com/watch?v=9cNdQB496P8>